

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 京極運輸商事株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 9073 URL <https://www.kyogoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 立岩 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 立岩 敦 (TEL) 03-5825-7143  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,298	1.3	△4	—	80	23.2	80	180.1
2024年3月期第3四半期	6,217	△5.2	△6	—	65	△25.6	29	△53.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △29百万円( —%) 2024年3月期第3四半期 255百万円( 50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 27.19	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	9.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期第3四半期	百万円 8,137	百万円 4,216	% 51.6	円 銭 1,459.10
2024年3月期	8,073	4,349	53.6	1,459.41

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,194百万円 2024年3月期 4,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,470	0.7	58	75.9	120	△2.7	84	39.9	28.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,200,000株	2024年3月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	325,299株	2024年3月期	235,258株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,954,891株	2024年3月期3Q	3,042,610株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の回復により緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、不安定な国際情勢を背景とする原油価格の上昇や原材料価格の高止まりは継続し、コストの増大、物価高騰等、引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

物流業界におきましては、2024年問題への対応のため、配送効率向上への取り組みを強化しているものの、燃料費の高止まりや深刻な人手不足など、取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループの売上高は、国内輸送事業における輸送数量の減少、国際物流事業における取扱数量の減少は継続しているものの、国内輸送事業を中心とした運賃交渉による価格改定により、6,298百万円と前年同四半期に比べ81百万円(1.3%)の増収となりました。

損益面につきましても、営業車両の老朽化による修繕費の増加がありましたが、国内輸送事業を中心とした運賃交渉による価格改定により、営業損失は4百万円と前年同四半期と比べ2百万円の増益、経常利益は80百万円と前年同四半期と比べ15百万円(23.2%)の増益となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は80百万円と前年同四半期と比べ52百万円(180.1%)の増益となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (イ) 国内輸送事業

化学品輸送数量が減少したものの、運賃交渉による価格改定により、増収・増益となりました。結果として、売上高は2,884百万円と前年同四半期と比べ217百万円(8.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は183百万円と前年同四半期と比べ30百万円(19.9%)の増益となりました。

#### (ロ) 国際物流事業

倉庫部門における輸出入貨物の取扱数量の減少により、減収・減益となりました。結果として、売上高は456百万円と前年同四半期と比べ21百万円(△4.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は81百万円と前年同四半期と比べ33百万円(△28.8%)の減益となりました。

#### (ハ) ドラム缶・ペール缶事業

ドラム缶販売部門においては、国内需要低迷により取扱数量は減少したものの、ドラム缶配送部門においては価格改定により、増収・増益となりました。結果として、事業全体では売上高は1,773百万円と前年同四半期と比べ53百万円(3.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は62百万円と前年同四半期と比べ5百万円(8.9%)の増益となりました。

#### (ニ) エネルギー事業

石油販売においては、販売数量は減少したものの、価格改定により、減収・増益となりました。結果として、売上高は822百万円と前年同四半期と比べ196百万円(△19.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は4百万円と前年同四半期と比べ4百万円の増益となりました。

#### (ホ) タンク洗浄事業

工事受注件数の増加により、増収・増益となりました。結果として、売上高は363百万円と前年同四半期と比べ28百万円(8.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は7百万円と前年同四半期と比べ4百万円(115.8%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、8,137百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産、並びに投資有価証券の減少はあったもののリース資産の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し、3,920百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、並びに退職給付に係る負債の減少はあったもののリース債務の増加によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、4,216百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月11日に公表した業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	944,100	959,270
受取手形、売掛金及び契約資産	1,461,824	1,358,625
リース投資資産	1,128	846
商品	10,298	11,866
原材料及び貯蔵品	15,784	20,896
半成工事	12,934	20,782
その他	195,805	206,240
流動資産合計	2,641,873	2,578,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,424,110	3,419,449
減価償却累計額	△2,735,906	△2,763,452
建物及び構築物 (純額)	688,204	655,997
機械及び装置	412,336	408,765
減価償却累計額	△349,094	△351,941
機械及び装置 (純額)	63,242	56,824
車両運搬具	3,015,579	2,941,339
減価償却累計額	△2,618,475	△2,627,994
車両運搬具 (純額)	397,104	313,345
土地	1,588,549	1,588,549
リース資産	686,045	1,140,805
減価償却累計額	△154,612	△268,063
リース資産 (純額)	531,433	872,742
建設仮勘定	539	76,245
その他	117,337	117,771
減価償却累計額	△94,259	△95,760
その他 (純額)	23,078	22,011
有形固定資産合計	3,292,149	3,585,713
無形固定資産		
ソフトウェア	51,751	27,474
その他	6,578	6,765
無形固定資産合計	58,329	34,239
投資その他の資産		
投資有価証券	1,955,723	1,775,825
リース投資資産	564	—
繰延税金資産	4,727	904
その他	119,542	161,437
投資その他の資産合計	2,080,556	1,938,166
固定資産合計	5,431,034	5,558,118
資産合計	8,072,907	8,136,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	782,738	728,001
短期借入金	872,320	851,170
リース債務	141,603	215,505
未払費用	204,623	242,837
未払法人税等	10,723	15,367
賞与引当金	156,701	110,743
その他	165,377	181,756
流動負債合計	2,334,085	2,345,379
固定負債		
長期借入金	25,090	7,000
リース債務	448,202	747,014
退職給付に係る負債	732,173	679,256
資産除去債務	52,488	52,829
繰延税金負債	114,376	72,787
その他	17,820	15,998
固定負債合計	1,390,149	1,574,884
負債合計	3,724,234	3,920,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,000	50,000
資本剰余金	4,995	114,995
利益剰余金	3,381,484	3,432,180
自己株式	△113,047	△186,438
株主資本合計	3,433,431	3,410,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	898,753	785,944
退職給付に係る調整累計額	△5,405	△2,219
その他の包括利益累計額合計	893,348	783,725
非支配株主持分	21,894	21,918
純資産合計	4,348,673	4,216,380
負債純資産合計	8,072,907	8,136,643

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	6,217,056	6,297,783
売上原価	5,725,035	5,828,940
売上総利益	492,021	468,843
販売費及び一般管理費		
販売費	17,373	16,777
一般管理費	480,712	456,306
販売費及び一般管理費合計	498,085	473,083
営業損失(△)	△6,064	△4,240
営業外収益		
受取利息	170	282
受取配当金	54,620	64,735
営業車両売却益	10,208	6,537
持分法による投資利益	3,435	14,912
補助金収入	6,668	5,632
軽油引取税交付金	7,176	5,813
その他	7,070	6,271
営業外収益合計	89,347	104,182
営業外費用		
支払利息	10,470	15,998
支払手数料	1,870	1,791
その他	5,765	1,854
営業外費用合計	18,105	19,643
経常利益	65,178	80,299
特別利益		
投資有価証券売却益	—	27,903
特別利益合計	—	27,903
特別損失		
固定資産除却損	22,582	—
特別損失合計	22,582	—
税金等調整前四半期純利益	42,596	108,202
法人税等	13,781	27,866
四半期純利益	28,815	80,336
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,684	80,344
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	131	△8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219,285	△105,441
退職給付に係る調整額	3,237	3,114
持分法適用会社に対する持分相当額	3,380	△7,206
その他の包括利益合計	225,902	△109,533
四半期包括利益	254,717	△29,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,341	△29,351
非支配株主に係る四半期包括利益	376	154

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、2024年6月26日開催の第84回定時株主総会決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、効力発生日を2024年8月1日として、資本金110,000千円を減少し、その他資本剰余金へ振り替えております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が50,000千円及び資本剰余金が114,995千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送 事業	国際物流 事業	ドラム缶・ ペール缶 事業	エネルギー 事業	タンク洗浄 事業	
売上高						
貨物自動車運送	2,650,604	—	—	—	—	2,650,604
港湾運送及び通関 倉庫	—	138,713	—	—	—	138,713
ドラム缶販売	—	—	1,208,632	—	—	1,208,632
ドラム缶配送	—	—	511,389	—	—	511,389
石油販売	—	—	—	1,017,553	—	1,017,553
タンク洗浄	—	—	—	—	335,197	335,197
顧客との契約から生じる収益	2,650,604	477,278	1,720,021	1,017,553	335,197	6,200,653
その他の収益	16,403	—	—	—	—	16,403
外部顧客への売上高	2,667,007	477,278	1,720,021	1,017,553	335,197	6,217,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,704	90	—	170,237	—	176,031
計	2,672,711	477,368	1,720,021	1,187,790	335,197	6,393,087
セグメント利益	152,757	114,393	57,189	77	3,027	327,443

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	327,443
セグメント間取引消去	△67
全社費用(注)	△333,440
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△6,064

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送 事業	国際物流 事業	ドラム缶・ ペール缶 事業	エネルギー 事業	タンク洗浄 事業	
売上高						
貨物自動車運送	2,862,953	—	—	—	—	2,862,953
港湾運送及び通関	—	142,241	—	—	—	142,241
倉庫	—	313,570	—	—	—	313,570
ドラム缶販売	—	—	1,230,015	—	—	1,230,015
ドラム缶配送	—	—	543,332	—	—	543,332
石油販売	—	—	—	821,820	—	821,820
タンク洗浄	—	—	—	—	362,905	362,905
顧客との契約から生じる収益	2,862,953	455,811	1,773,347	821,820	362,905	6,276,836
その他の収益	20,947	—	—	—	—	20,947
外部顧客への売上高	2,883,900	455,811	1,773,347	821,820	362,905	6,297,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,406	1,590	—	170,448	—	180,444
計	2,892,306	457,401	1,773,347	992,268	362,905	6,478,227
セグメント利益	183,146	81,406	62,262	4,027	6,533	337,374

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	337,374
セグメント間取引消去	△37
全社費用(注)	△341,577
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△4,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	267,868千円	269,743千円